

作品1「電のヴァリエーション」(千葉市美術館蔵) 全期展示

「書」とはなにか。「文字」という書の最大の特徴をも削ぎ落とした、線表現の実験の軌跡。

道風記念館  
特別展  
生誕  
110年記念

# 比田井南谷～線の芸術～

2022. 9.9金 > 10.16日

前期 9.9金 > 9.25日

後期 9.27火 > 10.16日

※半数以上の作品を、前期・後期で入れ替えます。

※前期展をご観覧の方は、半券のご提示で後期展を半額でご観覧いただけます。

開館時間=9:00-16:30 休館日=月曜日(祝休日の場合は翌日) 観覧料=一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料 主催=春日井市 協力=千葉市美術館、京都国立近代美術館、佐久市立天来記念館  
\*新型コロナウイルス感染拡大状況により、開館日や開館時間などが変更になる場合があります。ホームページなどをご確認の上ご来館ください。



作品9「電第2」(京都国立近代美術館蔵) 全期展示

講演会 2022.9.10土

- ① 演題「線の芸術」  
講師 比田井和子氏(天来書院会長)  
時間 13:30-14:15
- ② 演題「比田井南谷の臨書」  
講師 高橋蒼石氏(書宗院理事長)  
時間 14:30-15:15

会場=道風記念館 2階会議室  
参加費=無料(ただし観覧料が必要です。)  
定員=50名(抽選)  
申込=8.21(日)までに、  
道風記念館HP申込フォームか  
電話でお申し込みください。



春日井市道風記念館

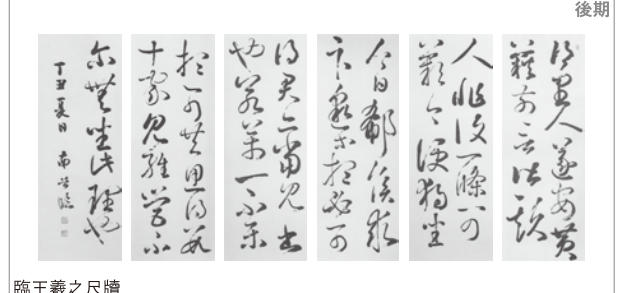
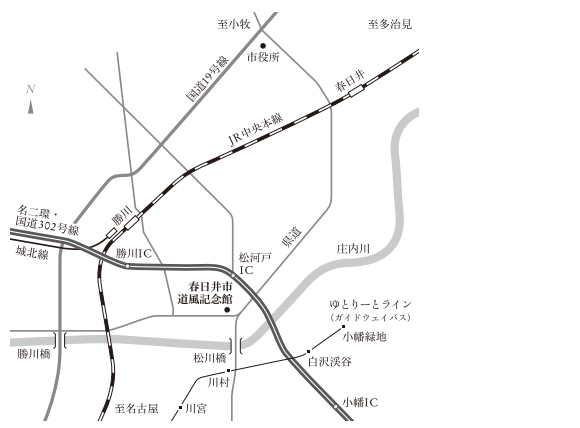
〒486-0932 愛知県春日井市松河戸町5丁目9番地3  
TEL 0568-82-6110  
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html>

比田井南谷(1912-1999)は、「現代書道の父」とよばれる書家比田井天来を父とし、徹底して古典から書法を学びました。そして書表現を模索するうちに到達したのは、文字性を放棄した心線の表現でした。南谷の心線作品は当時の書壇に大きな衝撃を与え、賛同者を得て前衛書運動へと発展、世界的に認められるに至りました。しかし文字を書かない作品を書と認めない批判の声もあり、それは今なお決着をみていないのかもしれませんが、「書とはなにか」。南谷の書は今もこう問いかけます。この展覧会では、初の前衛書作品「電のヴァリエーション」を始め、その後の書作の変遷をたどることのできる作品群を展示します。また、特に古典臨書作品、文字を扱った作品、作品の草稿などを展示し、比田井南谷の書芸術の源泉を探ります。

後期 作品8「家庭」	前期 作品13「受による」(京都国立近代美術館蔵)	全期 作品22(千葉市美術館蔵)	前期 作品31(千葉市美術館蔵)	後期 作品35
全期 作品36	全期 作品60-1	前期 作品61-2(佐久市立天来記念館蔵)	前期 作品61-7(京都国立近代美術館蔵)	後期 作品61-13
後期 作品63-10(京都国立近代美術館蔵)	後期 作品64-13	<b>道風記念館特別展 生誕110年記念 比田井南谷 線の芸術</b>		後期 作品67-1
前期 作品67-3	前期 作品68-1(春日井市道風記念館蔵)	後期 作品70-1(佐久市立天来記念館蔵)	後期 作品79-4(京都国立近代美術館蔵)	前期 作品80-1
全期 作品81-1	全期 止	全期 鳩	全期 臨空海筆真言七祖像贊	全期 論語

**春日井市道風記念館**  
 〒四八六-0932 愛知県春日井市松河戸町五十九三  
 電話 〇五六八-八二六一〇  
<https://www.city.kasugai.jp/shiseis/bunka/otyu/index.html>

- JR名古屋駅からJR中央線勝川駅下車、タクシー10分 徒歩30分
- 名二環外回り松河戸ICから3分、名二環内回り小幡ICから5分
- JR中央線大曾根駅からゆとりラインで川村駅下車 徒歩10分
- JR中央線勝川駅または春日井駅からかすががシテバス南部線で
- JR勝川駅発車時刻 9時40分・12時00分・14時15分
- JR春日井駅南口発車時刻 11時18分・13時33分・15時53分



主な展示品を掲載しています。